

まなびの
ページ



ちょっと考えてみませんかシリーズNo24 ～アウェアネス(Awareness)リボン～










リボンにメッセージを含めてシンボルマークとする「リボン運動」。最近では日本でも様々な色のリボンを目にするようになりました。ピンク、オレンジ、パープル…あなたはどれだけ知っていますか？

啓発活動や支援の意思を示すために身に付けるリボンを「アウェアネスリボン」と呼びます。アウェアネス(Awareness)とは、英語で「意識・気付き」という意味で、直訳すると「気付きのリボン」となります。訴える課題によってリボンの色が変わり、それぞれにメッセージがあります。

それぞれの課題を解決するためには、まずその問題について「自分が正しく知ること」そして、それを「周囲に伝えること」です。

寄付やボランティア活動といった積極的な支援だけでなく、苦しんでいる人たちに理解を示すこと、差別をしないこと、問題に対する正しい知識を身につけるといことも立派な支援活動になります。

代表的なリボンを紹介します ※一つのリボンで複数のテーマがあるリボンもあります。

-  ■ **レッドリボン**…エイズに対する理解と支援
-  ■ **ピンクリボン**…乳がんの予防・啓発
-  ■ **オレンジリボン**…子どもの虐待防止
-  ■ **イエローリボン**…障がいを持つ人たちの自立と社会参加
-  ■ **グリーンリボン**…移植医療普及、ドナーと家族への敬意
-  ■ **ブルーリボン**…拉致問題解決、大腸がんの予防・啓発
-  ■ **パープルリボン**…DV、暴力根絶
-  ■ **ホワイトリボン**…開発途上国における妊産婦の健康を守る
-  ■ **シトラスリボン**…新型コロナウイルスに関する差別防止・啓発

リボン以外の活動での色の使われ方「レインボーフラッグ」

LGBTQなどの多種多様な人たちへの理解を広げるための「レインボーフラッグ」。6色の虹は性の多様性の象徴であり、**世界のどんな場所にもあることから、誰が見てもわかるユニバーサルデザイン**という意味も込められています。

